



本堂・庫裏・不動堂修繕工事始まる

檀信徒・法縁者各位におかれましては、ご清栄の事と存じます。東日本大震災より一年、被災地に住む我々は家族、知人の内、誰かを震災により喪つており、今回ほど命の重さや人生の儚さを感じ知らされた年は無かったのではないのでしょうか。一方、震災後は国内は元より世界各国からこの地に対し援助の手が差し伸べられた事に、人種や宗教を超えた慈悲というものを感じることが出来ました。この事は、私達被災者は生涯忘れてはならぬ大恩かと存じます。私達は恩に報いる為にも一所懸命なる努力を積み重ね何としても復興をし、有事の際にはこの恩返しが出来よう心して生活致したいものです。

さて、一月末より、本堂庫裏の修繕作業に入る事が出来ました。本堂は6年前の耐震工事が功を奏し、躯体に大きな被害はございませんでした。しかし、内外装のモルタルに亀裂が入り、特に屋根軒先の亀裂は放置すれば数年後には落下の危険性がある状態です。庫裏は下り棟がすべてずれ落ちる等、瓦の被害が甚大で、昨年四月に危険箇

所撤去等の応急処置は行ったものの、公道に隣接する事もあり、修繕は一刻を争うものでありました。今回、震災時に公道側に瓦の落下が生じた事を踏まえ、より安全な銅板屋根に葺き替える事と致します。

今回はこの工事に併せて別院稲荷不動堂の本殿と拝殿の修繕も行います。この工事は中止になったモノレール設置事業と並列して行われる予定だったもので、既に本殿の柱と床に腐食があり、放置すれば危険な状態となりますので、修繕の運びとなりました。

修繕・復興の資金と致しましては、何れの建築物躯体には大きな被害がなく、保険が適用された金額は本堂庫裏併せて501万円と、修繕金額には程遠く、さらにはそれぞれ被災されている檀信徒に喜捨を仰ぐのは信仰を害するものと考え、止むを得ず銀行からの融資を原資として事業に当たりたいと存じます。檀信徒各位におかれましては、年忌法要等を肅々と行じて頂く事が今回の事業に対して何よりのご助力となります。何卒宜しくお願い申し上げます。尚、銀行よりの借入詳細に関しては次項を参照下さい。

本堂・庫裏・稻荷不動堂修繕予算
及び同事業に際しての借入に関して

・修繕工事予算 平成24年1月1日～11月1日迄

収入の部

	科 目	予算額	備 考
1	借入金	60,000,000	七十七銀行塩釜支店
2	一般会計より繰り入れ	20,000,000	保険・各機関見舞金・積立金等より
	合 計	80,000,000	

支出の部

	科 目	予算額	備 考
1	庫裏本堂修繕	65,000,000	菊兼工務店
2	不動堂修繕	11,000,000	菊兼工務店
3	予備費	4,000,000	追加工事等
	合 計	80,000,000	

(単位＝円)

会計処理は平成23年度、24年度、東園寺一般会計の中で行います。

今回の工事に際し左記の通り借入を行います。

金融機関 七十七銀行塩釜支店
(口座名) 宗教法人東園寺 代表役員
千坂成也

借入金額

◎2000万円(復興支援ローン)

無担保 住職保証人

◎4000万円

4000万円分担保物件

・土地

千坂成也(代表役員) 所有

利府町野中沢90-1(420・85㎡)、

同90-3(126・00㎡)、同90-11(303・

01㎡)、同90-12(521・17㎡)

・建物

東園寺研修センター(利府町加瀬字

野中沢90-1、床面積368㎡)

・家屋

千坂さつ子(先住寺庭) 所有

利府加瀬字野中沢90-12(床面積80・

38㎡)

・保証人

千坂成也(代表役員)

千坂智枝(寺庭)

・住職寺族の担保提供に関して

今回、宗教法人東園寺が七十七銀行から借入を行うに際し、代表役員私有地及び、先住寺庭所有家屋が担保物件となっておりませんが、これは近年の銀行が境内地を担保として認めない事、さらには不測の事態が生じても宗教法

行事報告

・稻荷不動堂大祭

昨年10月16日不動堂大祭が役員、法話会員、青壮年部参加のもと厳修されました。法要後には恒例となった、いも煮会が青壮年部のお手伝いを得て振る舞われました。



・東日本大震災犠牲者一周忌 涅槃会コンサート

(青壮年部 青松会主催)

恒例となった涅槃会コンサートが東日本大震災犠牲者のご冥福の祈りを籠めて去る2月26日厳修されました。コンサートに先立ち、涅槃会と一周忌の回向が厳修され、コンサートでは本年、ゲストのソプラノ歌手関本愛さんとピアノスト池田姿さんの歌声と演奏に、参加者の方々は日常を離れたひと時の安寧を感じて頂いたようです。



除夜法要

・除夜法要 (青壮年部 青松会主催)

12月31日午後11時30分より本堂にて除夜法要が営まれました。今回は堂内での法要に参加頂いてから除夜の鐘を撞く方が増え、当山にとってはとても嬉しい除夜法要となりました。尚、当日はかまぼこの水野様提供のおでん、巨理屋様提供の甘酒で参拝者に楽しんで頂きました。

・伊保石仮設住宅 傾聴ボランティア

本年も引き続き伊保石仮設住宅で、市内慈雲寺様を中心に傾聴ボランティアの活動を行っています。昨年迄は毎週水曜日の活動でしたが、本年は隔週の活動となっています。

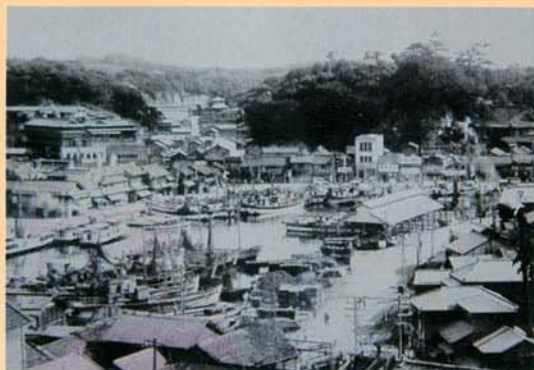
・成道会く悟りの夕べ

平成23年東園寺所蔵墨蹟展

12月18日午後5時より、役員会と詠歌部、法話会員の皆様にお集まり頂き、成道会く悟りの夕べが開催されました。今年は宮城県歴史博物館学芸員の塩田達也先生にご来山頂き、東園寺所蔵の塩釜松島図屏風や数多く画かれている塩釜松島鳥瞰図に関し、貴重な講演を賜りました。



また、成道会に併せて第九回東園寺所蔵墨蹟展が12月16～18日迄、教化センター及び中書院・茶室を会場に開催されました。古くから歌に詠まれ、江戸期には伊達藩を代表する観光名所であった塩釜と松島の姿を胸に刻むべ



昭和初期の港の風景 右奥が東園寺
(展示の一部)

く、塩竈松島図屏風や鳥瞰図、昭和初期の絵ハガキ等を中心に展示を行いました。また、昨年は大正100年の節目の年であり、これを記念して特に大正期に活躍をされた中原鄧州（南天棒）、松原盤龍、釈宗演、各老師にスポットを当て、新しい文化文明を受け入れる本邦に一石を投じた往時の禅僧の姿を紹介致しました。

最後になりましたが、この展示に際し、当山檀信徒の鈴木双竜先生には貴重な所蔵品を出展頂き、充実した展示が行えた事を心より感謝申し上げます。残念ながら氏は昨年より体調を崩され、この一月逝去されました。双竜先生は



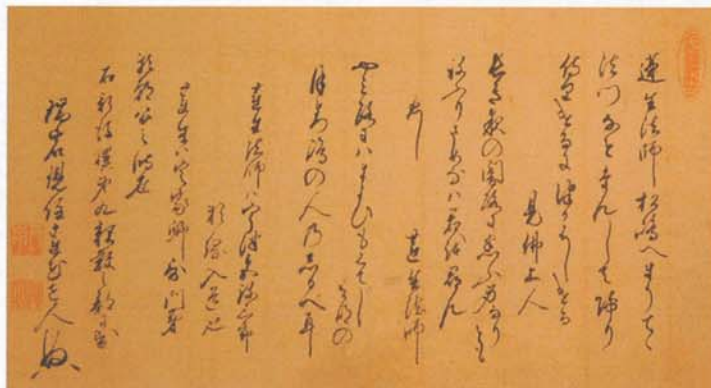
日活『惜別の歌』撮影風景
往時のサイレンの姿が懐かしい

(展示の一部)

高名な易学者で、歴史にも蘊奥が深く、また地元史に関して貴重な資料を蒐集されており、前回の会報で塩釜松島展の開催をご案内したところ、今回の貴重な所蔵品の出展をご提案頂きました。以前には鈴木家に所蔵されていた東園寺之碑拓本を寄贈頂いた事があり、これを機縁として小柄はご厚情を賜り、貴重な塩釜市史のご高談を頂戴致しました。この度の葬儀に際して、鈴木家様からは瑞巖寺住持で妙心寺に三度住持なされた天嶺性空禅師の墨蹟を寄進して頂きました。鈴木家様には深甚なる感謝を申し上げますと共に、双竜先生の御霊のご安寧を心より祈念致します。

天嶺性空和尚筆「新後撰和歌集巻第九釈教歌の一節」

(鈴木家寄贈品)



蓮生法師松島へ詣で、
法門などだんじて歸り
侍りけるに津かわしける

見佛上人
長き夜の闇路に迷ふ身なりとも
ねぶりさめなば君を尋む
返し 蓮生法師

闇路には迷ひも果てじ有明の
月まつ島の人の志るべに

蓮生法師ハ宇津宮弥三郎

頼綱入道也

蓮生ハ定家卿分門弟

頼朝公之時世

右新後撰和歌集巻第九釈教歌

瑞岩現住蓮花老人(花押)

蓮生法師は天嶺和尚が記す通り、宇都宮弥三郎頼綱入道蓮生（1178～1259）のこと。この人が宇都宮五代城主で鎌倉御家人。和歌を得意とし、宇都宮歌壇を創設する。

見仏上人は松島の名の発祥の地である現在の雄島に居住した行者。蓮生法師の歌にも詠み込まれているが、「月待つ島の上人」とも称され、法華経を誦誦して法力を得、奇蹟を起こしたという。この法力は遙か都まで届き、鳥羽天皇から松の苗を千本賜り、これにより上人の住した島を千松島と呼び、これが松島の由来となった。瑞巖寺に現存する仏舎利は北条政子より上人に贈られたもの。西行によれば、見仏上人は月の内、20日を松島で過ごし、残りの10日は能登の岩屋で過ごしたのだとか。古人の想像力たるや驚嘆すべし！

天嶺和尚は伊達家の重臣であり、寛文事件と関わり蟄居閉門された伊東七郎の一族。伊東家一門が処罰

・塩釜松島図屏風

江戸後期に画かれたと思われる作品。紙本金地着色。



塩釜松島図屏風中に画かれた塩釜の町並み



雄島の様子。雲居禪師の坐禪堂等、頼賢の碑、見仏上人栖遅地の書き入れが見られる。

された時期に母の胎内にあり、誕生後、命を救うべく松島水主町本村氏の門前に捨てられ、同家で養育された後に、水主町鈴木家の出身であった瑞巖寺103世通玄法達和尚に薫育され、後に本山妙心寺に三度住職、瑞巖寺105世となる。瑞巖寺歴代住職随一の能書家で扁額や聯の遺物が多数伝えられる。細字でしかも松島に因んだ墨蹟として本作は希少である。

天嶺和尚は、師の通玄和尚が開山した燕沢善応寺の普請にあたっては監

造という造営責任者を任され、同寺の中興として尊崇される。鈴木双竜先生が天嶺和尚の墨蹟を手に入れた背景は、上記の通り寛文事件により人生が一変した天嶺和尚を慕ったの事であった。寛文事件で人生が変わったと言え、この事件により2歳で4代藩主となつた塩釜港開港恩人伊達綱村公。善応寺が綱村公開基の寺である事を思うと、両者の深い因縁を感じさせられる。

花祭りの夕べ 平成24年4月8日午後5時より

講談「松島瑞巖寺中興開山 雲居禪師一代記」

講談師 神田陽司 先生

松島瑞巖寺中興開山雲居禪師の一代記が神田陽司先生の講談により再現されます。楽しいクイズ大会などもございます。是非ご参加下さい。参加希望の方はお彼岸中に寺務所まで

参加会費 大人 3000円

高校生以下 1000円 ※お食事付き

塩釜中央
幼稚園

塩釜第二
中央幼稚園

幼稚園 だより

たのしい
おもいで
いっぱい
の
1ねんかん



大運動会（第二）



大運動会（中央）



遠足（中央）



お茶のお稽古（第二）



お遊戯会（第二）



楽しい給食（中央）



お店屋さんごっこ（中央）



お店屋さんごっこ（第二）



プール教室（第二）



楽天イーグルス・マスコット・クラッチーナ来園（中央）



書道教室（中央）



節分（第二）



もちつき（第二）



お遊戯会（中央）

婚活の集い!!

6月23日1時30分より東園寺にて

昨年実施予定でした「婚活の集い」を下記にて実施致します。仏縁を以て永遠のパートナーを見つけましょう! 檀家さんに限らずご参加頂けます。

実施日時

平成24年6月23日(土)

午後1時30分

読経法話(本堂)

数珠作り

トークタイム(午後4時頃終了)

募集要項

参加資格 独身で結婚の意思があり、年齢満20〜50歳迄の方。

離婚歴は問いません。

募集人数 男女共に15人。

〆切日 平成24年5月末日。満員になり次第、〆切ります。

参加会費 2000円

申し込み方法

東園寺のホームページより、申し込み用紙をダウンロードして頂き、必要事項を記入の上、東園寺にご本人が提出して下さい。



ザゼンクラブ再オープン!

前回会報でお知らせした通り、東園寺研修センターTHE ZEN CLUBが「東園寺研修センターTHE ZEN CLUB K&B GYM」として再オープンしました。指導は斎藤高史先生です。各々の体力にあったプログラムで懇切丁寧な指導がなされます。運動不足の方、ダイエットが必要な方、是非ご来館下さい。またTHE ZEN CLUBでは写経会、坐禅会を近日開始します。詳しくは東園寺のホームページでご確認下さい。

THE ZEN CLUB K&B GYM 会員募集

コース	入会金	月会費	利用回数
中学高校生	5,250円	7,350円	週3回まで
ベーシック	5,250円	5,250円	週2回まで
レディースベーシック	5,250円	4,725円	週2回まで
一般	5,250円	6,300円	週3回まで
一般レディース	5,250円	5,250円	週3回まで
痩身(ボディバランス)	5,250円	10,500円	開館日すべて利用可能
競技者	5,250円	10,500円	開館日すべて利用可能

※東園寺檀信徒、塩釜中央幼稚園と塩釜第二中央幼稚園の保護者の方は入会金無料です。入会時にお申し出下さい。入会の際、東園寺檀信徒は寺登録のご住所と登録檀信徒名を、幼稚園保護者の方は、現在のクラス名と園児名をお伺い致します。

境内墓地でございます

昨年の東日本大震災でもびくともしませんでした! 旧来の墓地から移動をお考えの方もご相談下さい。

永代供養。その前に!

「ウチには後継者がいないからお墓は永代供養か!」おっと! その前に、東園寺では姓が変わっても墓地を継承して頂けます。血縁の方で永続的に墓地を使用する意思のある方はご相談下さい。墓地を継承して頂ける場合もございます。

それでも継承者がいない! という方には。

・東園寺では個人墓、夫婦墓の他、合葬墓である釈子塔(しゃくしとう)等、施主の様々なご事情に応じた永代供養方法をご準備しております。是非ご相談下さい。



022(362)0777 寺務所
022(362)8651 中央幼稚園
022(365)5616 第二中央幼稚園
022(364)4444 寺FAX

宗教法人 東園寺 〒985-0026 塩釜市旭町4-1
学校法人 東園寺学園 〒985-0012 塩釜市芦畔町13-51
代表役員 千坂成也 理事長 千坂秀也 花園会・会長 阿部久壽

東園寺ホームページ <http://www.toenji.com>

坐禅会法話会の情報はYahooブログ「布袋の袋」

